



創刊号

発行

大阪広域生コンクリート協同組合

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号
新瓦町ビル8階
TEL.06-6222-5661 FAX.06-6222-5662

www.osaka-kouiki.or.jp

明日の大阪のために…

大阪広域NEWS



理事長 木村 貴洋

新生「大阪広域」が期待されること

木村貴洋理事長が語る

昨年7月、生コン業界だけでなく建築業界全体にも話題を投げかけた大同団結から約1年余りが経過した。組織全体としては想定通りに順調な方向に進んでいるとうかがえる。そのあたりの思い、今後の展望などを木村貴洋理事長に語つてもらつた。

日本最大の協同組合であることの誇り

木村 長年低迷してきた生コン業界。さらにリーマンショック以来、業界内で過当競争が加熱し、業界全体としても疲弊度は限界に達してしまった。

そしてあらためて危機的な現況を重く認識し、このままでは共倒れになるという危機感が増す中で、昨年の7月、歴史的とも言える変革を行しました。それは、今までライバル同士であった阪神地区生コン協同組合、大阪レディースミクストコンクリート協同組合との大同団結を実現した

ことです。

その結果、日本最大の組合員数を誇る新生「大阪広域生コンクリート協同組合」が誕生しました。3協同組合と員外社による過当競争が招いた危機的状況を打破し、業

界秩序の回復を図ることに主力を置いて活動し、特に公平・公正・透明性ということを念頭に置きながら約1年が過ぎました。またが、想定通り97%の組織率を達成し非常にうまく進んでいると思っています。

一大阪広域生コンクリート協同組合が考える「品質保証」「安定供給」「適正価格」「社会貢献」はどうのものですか?

木村 社会の重要なインフラの基礎部分を担うコンクリートだからこそ、その「品質」にはどんな妥協も許されません。組合傘下の工場で使用するセメントはもちろんのこと、水、骨材、混和剤などすべての原材料に対して厳しい品質基準値を設け、その基準をクリアしたものだけを使用するように指導・監督。そして、その管理を万全なものにするために品質管理制度によつて定期的に加入工場への立入監査を実施しています。その結果、業界でも画期的な生コンのブランド化を実現させることができます。それが、「コンクリート®」という商品

を誕生させました。それは、単に品質の高い生コンというだけではございません。瑕疵保証を3億円から10億円に増額。たゆまない技術革新と品質管理の厳しさが、そのことが大切なのです。

木村 そんな我々が常に意識していることは、「にも二にも我々の原点でもある「品質保証」「安定供給」「適正価格」「社会貢献」の4つの柱を堅持していくことが大切なのです。

木村 そうですね。そこで、様々な社会貢献活動に積極的に参画することで、少しでも安定し、結果的に品質の高い生コンを「安定供給」するこれが可能になってくるのです。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

木村 そんな我々が常に意識していることは、「にも二にも我々の原点でもある「品質保証」「安定供給」「適正価格」「社会貢献」の4つの柱を堅持していくことが大切なのです。

木村 これが我々の考える「適正価格」であり、それが安定することとで材料、輸送、従業員の賃金なども安定し、結果的に品質の高い生コンを「安定供給」するこれが可能になつてくるのです。

木村 これが我々の考える「適正価格」であり、それが安定することとで材料、輸送、従業員の賃金なども安定し、結果的に品質の高い生コンを「安定供給」するこれが可能になつてくるのです。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

品質保証、安定供給、適正価格、社会貢献

この4つの柱をさらに強固に

木村 そんないいことは、単に品質の高い生コンというだけでなく、瑕疵保証を3億円から10億円に増額。たゆまない技術革新と品質管理の厳しさが、そのことが可能になつてくるのです。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

木村 これが我々の考える「適正価格」です。

明日の大阪のために…

大阪全域に根ざした 我々の大きな使命

木村 「大阪広域」という名前が表しているとおり、広範囲な積極的な取り組みは

木村 「大阪広域」という名前が表しているとおり、広範囲な積極的な取り組みは

木村 「大阪広域」という名前が表しているとおり、広範囲な積極的な取り組みは

木村 「大阪広域」という名前が表しているとおり、広範囲な積極的な取り組みは

事業本部長 座談会



営業本部&業務本部長
岡本 真二



戦略本部長
地神 秀治

生まれ変わって新体制になった「大阪広域生コンクリート協同組合」。その要となっているのが新しく導入された事業本部制。営業本部、業務本部、戦略本部、管理本部、技術本部の5つの事業本部がそれぞれの役割に専門的・効率的に対応し、協同組合全体の運営を行っている。そんな事業本部制の各本部長に、今後のビジョンなどを座談会形式で語ってもらった。

何より「公平・公正・透明性」が、これからも一番大切

岡本 大同団結を行つてから1年余り。今で値戻しは2段階まで来ており、発足直後の7月には12800円、そして現在は13800円まで値が戻つています。そして来年の4月1日には15800円を実現すべく進行中です。ただ、短期間に価格が上がつたのでユーザーからいろいろ声が上がってます。そこを理解いただけるようには、現在は交渉しております。

地神 これは値上がりではなくて、あくまで値戻しのことなっています。それを理解してもらわないといけないのです。販売店の皆さんには生コン製造・輸送の現場を見られていないので、どうしても値段だけで安い方に流れてしまいがち。それが結果的に、今の業界全体の危機的状況へのスパイクとなっていました。その危機を脱するための断行しなければならなかつたのが今回の大同団結なんですね。

ただ、何をもつて「適正価格」であるかは、我々の生コン業界は非常にわかりにくいものであり、きつちりと積み上げ方式で算出した金額が伝えきれないので現状なのです。製造コストから輸送コスト、人件費などをトータルで考え無理をしない価格であるべきです。輸送の運賃が含まれていることや、従業員へのキツチリとした福利厚生

を考えると、やはり18000円台でないと厳しいのが現状ではないでしょうか。決して暴利を貪つたり、一部だけが利益を享受するという七のではありません。今まで頑張ってくれていた我々の下請けの方々への価格も上げ、生コン業界全体に底上げするということなのです。重ねて申し上げますが、今回の「適正価格」へ向けた動きは、値上げでなく値戻しであるということが一番のポイントです。

また、この「適正価格」は生コン製品の技術に関することも波及する問題でもあります。日々進歩の建築業界において、我々も追いついていかなければいけないのに、設備投資なども滞っている工場が少なくありません。設備投資なども協同組合が厳しく管理・監督していくことで品質の水準を保つていただきたいと考えています。

高い品質を維持するためにも、「適正価格」の確立を

高い品質を保つためたゆまない技術革新を

社会貢献についてもどんどん拡げていきたい



■品質保証書



岡本 品質保証書をはじめ「品質」にこだわり続ける我々としては、絶対に手を抜くことが許されない問題であり、その解決策としても今回の「適正価格」への値戻しは不可欠なことなのです。

また、我々は業界において日本最大の組織でもあるので、そういう意味で今回の「適正価格」への値戻しにより、業界全体の是正・発展を牽引してゆけばと考へています。

新で、高い品質を保つていくのが大阪広域生コンクリート協同組合の使命であると考えています。何より「コンクリート」のキヤッチフレーズにもなつてゐる「命を守るコンクリート」は、高い技術に裏付けられた品質が求められるのですから。

昨今、世間を騒がした日本各地の偽装建築問題の影響で生コンクリートにも厳しい目が向けられるようになりました。その結果、生コン製品の性能に対するユーザーの要求もどんどん高くなっています。それに応えるために、たゆまない技術革新をめざしてきました。

地神 今まで別々にバラけていた組織が一つにまとまって、より大きなことができるようになりました。これも「公平」「公正」「透明性」のおかげで、本当に仲の良い組織になってきていると実感しています。個社の経営面などの相談事にも対応していく弱いところは相互で助けていくのが協同組合の一番の目的なのですから。

管理本部長
矢倉 完治



■大阪府危機管理室防災協定の訓練風景



■第10回未来の大阪を描こう!!コンクール最優秀賞作品



技術本部長
岸田 治夫